

報恩寺だより

No. 50
2020年4月1日発行
おたすけ観音 報恩寺
綾瀬市寺尾南2-10-1
電話 0467-78-7160
FAX 0467-79-1567

だいほんにゃきとうえごんしゅう 大般若祈祷会勤修について

本年度の大般若祈祷会は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、皆様の安全確保や拡大防止の観点から檀信徒の参拝を中止させていただくことにいたしました。法要は内勤といたします。

記

日時 令和2年5月17日(日) 14時より

Facebook「おたすけ観音 報恩寺」でライブ中継を予定しています。
詳しくは「おたすけ観音 報恩寺」のホームページ、または「おたすけ観音報恩寺のFacebook」をご覧ください。

特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

令和元年5月 橋川 一枝 様
令和元年6月 早川 主税 様
令和元年7月 早川 雪男 様
令和元年8月 橋川 雅弘 様
令和元年10月 山口 裕久 様
令和2年3月 橋川 一枝 様

座禅会

毎月第1日曜日 朝6時より
毎月第1日曜日の前日土曜日 午後3時より

どなたでも参加できます。
動きやすい服装でおいで下さい。

◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

4月 8日 花祭り
5月 17日 大般若
8月 7日 大施餓鬼会
9月 16日 秋彼岸会法要
12月 8日 成道会
12月 31日 除夜の鐘
令和3年 1月 1日 お年始詣り
2月 15日 涅槃会
3月 彼岸会法要

報恩寺晋山結制決算書

収入合計 ￥ 50,793,107
支出合計 ￥ 50,793,107
差し引き残高 ￥ -

収入			
項目	予算	決算	備考
寺院お祝い	¥ 4,000,000	¥ 5,820,000	祝賀、香資、首座祝賀
檀信徒お祝い	¥ 5,000,000	¥ 6,350,000	510件
役員寄進	¥ 3,600,000	¥ 3,810,000	役員寄附43件
一般寄進	¥ 3,000,000	¥ 11,635,000	316件
新命寄付金	¥ 1,500,000	¥ 2,000,000	住職からの寄付金
その他寄進	¥ 300,000	¥ 1,235,000	親戚、業者お祝い
報恩寺	¥ 29,000,000	¥ 19,943,107	寺院会計より
	¥ 46,400,000	¥ 50,793,107	

支出			
項目	予算	決算	備考
法衣・荘厳関係	¥ 3,600,000	¥ 3,950,124	新命(法衣・払子等)・本堂荘厳(五色幕)
寺院御礼	¥ 6,500,000	¥ 7,370,000	尊宿(80万円)配役寺院(95名×6万円)その他
寺院記念品	¥ 5,000,000	¥ 5,588,876	八寸、絡子、首座記念
角塔婆	¥ 475,200	¥ 909,520	浜中塔婆、設置、ピリ砂利
祝宴	¥ 3,000,000	¥ 2,362,543	レンブラントホテルホテル祝宴、雅楽その他御礼
檀信徒記念品	¥ 3,000,000	¥ 3,240,000	念珠(5千円×600)
参列者記念品紅白饅頭	¥ 200,000	¥ 388,800	単価648×600
お手伝い弁当	¥ 200,000	¥ 987,606	17日、18日、お菓子等
本堂畳替え	¥ 2,184,000	¥ 2,184,000	本堂68畳、客殿72畳
客殿天井修繕絨毯張り替え	¥ 2,601,315	¥ 2,601,315	綾瀬家具
事務机・椅子等交換	¥ 815,031	¥ 815,031	綾瀬家具
本堂天井修繕	¥ 4,300,000	¥ 4,300,000	藤井工務店
稚児行列荘厳	¥ 1,200,000	¥ 1,286,040	役員法被・梅花講員・稚児引率者法被・五色傘
稚児行列荘厳記念写真パネル	¥ 500,000	¥ 756,000	白山スクリーン
役員絡子	¥ 264,072	¥ 264,072	加都羅58枚
当役宿泊費	¥ 800,000	¥ 412,800	35名分
特別寄附御礼	¥ 500,000	¥ 741,840	役員、一般含む
一般寄進御礼	¥ 400,000	¥ 2,090,500	名入れ置時計
事務費	¥ 500,000	¥ 711,504	郵送料等、会議費等
予備費	¥ 360,382	¥ 1,881,672	記念写真、寺院用円成御礼、送料
湘和会堂	¥ 10,000,000	¥ 7,950,864	イベント1式
	¥ 46,400,000	¥ 50,793,107	

上記の通り報告します。令和2年1月17日

宗教法人 報恩寺 代表役員 加藤良隆

晋山結制実行委員長 近藤 亘

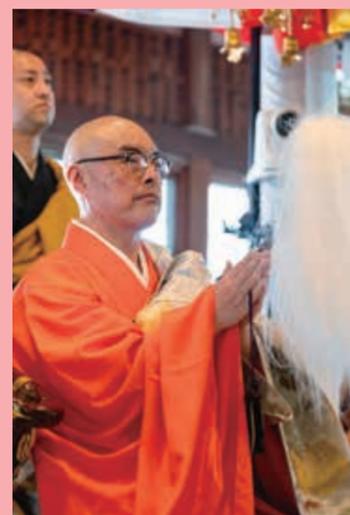
令和元年 5月18日 12時 先住忌

報恩寺二十八世重興大源良興大和尚三回忌法要を
海老名市勝瀬鳳勝寺住職
山下玄機老師を導師にお
願いし行いました。



令和元年 5月18日 12時40分 総回向

全法要の最後に新命和尚が檀信徒各家のご先祖様の供養と、家門繁栄、
子孫繁栄を願います。



おたすけ観音さまお施主さん募集



山内に鎮座されています
石のお観音様のお施主様
を募集いたします。

一体一体職人による手彫
りです。

1体 20万円

令和元年 5月17日 15時 首座入寺式

首座入寺式とは、修行僧のリーダーを務めるための儀式。首座は住職の弟子であり長男の加藤太樹がその役を
務める。本堂を座禅堂に見立て焼香道内を一巡し、堂長にお拝をして自位につく。



入堂の為の焼香



新命と首座が互い
にお拝をする



首座が入堂を認められ座禅堂の自位につく

令和元年 5月17日 15時30分 土地堂念誦

晋山式の安穏と円成（成功）を土地神に祈念する法要。
本堂脇間を使用し行われる。

書記とは首座の指導役



本堂脇間にて法要が行われる



書記



首座



新命

令和元年 5月17日 16時 本則配役行茶

住職より晋山式の寺院配役のほか檀信徒役員配役が発表され、その後、ご本寺様より明日の首座法戦式
の本則（課題）の講義があり、参加者にお茶とお菓子が振舞われる。



役員・梅花講員にお茶とお菓子が振舞われる



本則の講義をする西堂



配役を読み上げる新命

令和元年 5月18日 安下処諷経

安下処とは、新住職が寺に入る前に立ち寄り、旅支度から晋山式の身支度を整える場所という意味です。この度は晋山式実行委員長である近藤亘さんのご自宅を安下処とさせていただきます。先祖供養を勤め、記念写真を撮影しました。



安下処にて先祖供養を勤める



安下処にて五侍者と共に記念写真

令和元年 5月18日 稚児行列

新命住職一行は、安下処を出て寺尾南自治会で稚児一行と合流し報恩寺までを行列します。報恩寺役員用と稚児引率用の法被は、お観音様の梵字（サ）と梅の花・波をデザインしています。役員さん先導して頂き、雅楽・幡持ち（総代）梅花講・稚児・新命・傘持ちの順で行列しました。



寺尾南自治会館を稚児行列が出発する



梵字の入ったオリジナルの白い傘をさして



行列の先頭が参道に到着し、雅楽の音色が響き渡る

令和元年 5月18日 10時30分 首座法戦式



首座はじめ両班が導師を迎えに玄関に



導師より法戦をするための竹籠を受け取る



修行僧の第一座に足る迫力の問答が繰り広げられる



本寺である遠藤・寶泉寺さまにお拝をする首座。堂内全ての随喜寺院にお拝をして回る。

首座とは修行僧の筆頭であり、住職の隣に座りその補佐をしながら修行をするという意味。その昔、お釈迦さまが靈鷲山においてお弟子の迦葉尊者にご自分の席を半分ゆずって説法を許されたという故事にならい、住職に代わって仏道の肝心なところを、修行僧に説法をしたという儀式が徐々に発展し、首座と修行僧達とで激しい問答を行うようになりました。

令和元年 5月18日 晋山開堂

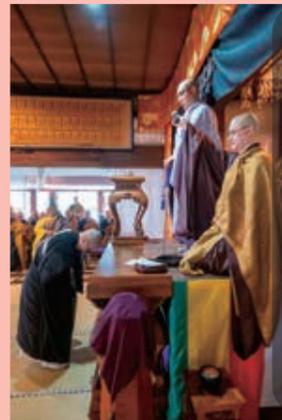
晋山開堂とは晋山上堂ともいい、新命住職が須弥壇上に登り住職としての信念や、方針を述べ、随喜寺院より、お祝いの言葉や、力量を問う質問を受け、西堂老師（本寺住職）がそれを見定め証明するという内容の法要です。



大太鼓の鳴り響くなか上殿する



問答に先立ち世話役の和尚様たちから礼を受ける



問答の第1問目は首座和尚問「如何なるか仏法」
答え「仏法とは、今日のこの法要に随喜してくださったで寺院さま、檀信徒の皆様、陰ながら支えてくれた、あなたの母親である寺族のおかげです。それが仏法。その御恩に答えるのも仏法です。弁道精進してください。



随喜寺院との問答



宗務所長・永平寺専使・西堂老師の見守るなか法要が修行される



永平寺専使 本覺寺住職守長老師より祝辞を頂く



総代長実行委員長 近藤亘様より祝辞を頂く



法要が務まり退堂する

令和元年 5月18日 晋山式

山門・仏殿（本尊・お釈迦様、本堂）で法語を奉読し、住職辞令と緋衣（赤い衣）を宗務所長より受け土地堂さま、達磨様、御開山様に法語をとる。



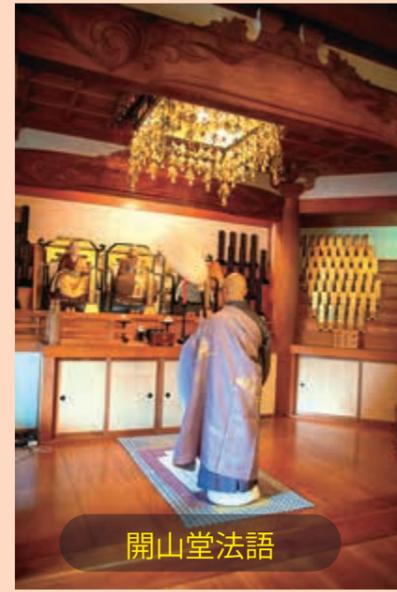
山門法語を奉読する



大播上殿



仏殿法語を奉読し焼香



開山堂法語



宗務所長より緋衣を受け取る



新命退堂



入退堂は屋外に通路を特設